

# いいの 公民館だより

発行：飯野公民館 入善町東狐171-1 TEL 0765(72)5723 令和7年3月25日  
(Eメール) info-s@iino-k.main.jp (URL) http://iino-k.main.jp/

117号

## 令和6年度公民館まつり

公民館まつりの内容として、作品展示を主体とした1日開催と作品展示と演芸発表の2日開催を毎年交互に行っています。今年度は、作品展示の1日開催で行いました。

今年度の特長として、「草月流」と新たに「池坊」が加わり、2流派の生花展示となりました。また、学童保育から「お茶教室」を行っていただきました。

★日時：11月10日（日）

9：00～14：00 作品展示・抽選会

10：00～11：30 お茶教室

★来場者：296人

★作品展示：応募人数：155人 作品数：272点



## 飯野公民館の収支状況の概要

飯野公民館は、地域のコミュニティの活性化を目的として、事業活動を行っています。その中で収支については、予算計画・決算報告を公民館運営委員会で行い、承認をいただいています。飯野公民館の収支の概要は、以下のようになっています。

### ●収入（毎年ほぼ一定となっています）

1. 会費	約40万円	・地域住民から春の募金時にいただいています。
2. 町の補助金	約45万円	・ひとづくりまちづくり、女性学級の委託事業費 ・公民館まつり、事業活動の運営補助金
3. 助成金	約45万円	・区長会、体協、飯野コミュニティセンター
収入合計	約130万円	

### ●支出

1. 事業費	約70万円	・公民館関連 公民館まつり、歴史探訪、カローリング大会等 ・小学校関連 紙飛行機教室、バードウォッチング、親子ソバ教室
2. 助成金支払	約30万円	・ひとづくりまちづくり、女性学級、敬老会への助成 ・公民館まつり演芸発表協力団体への助成
3. 公民館だより	約10万円	・年2回発行
4. 交際費	約10万円	・小中学校入学祝金・運動会支援金、歓送迎会等
5. 運営費	約10万円	・コピー費、切手代、負担金、会議費等
支出合計	約130万円	

### ★特記事項

事業費については、毎年一定ではありません。コロナ禍では、公民館活動ができなかったため、活動余剰金が生じました。新型コロナウイルスの活動制限が解除されてから、公民館まつりでの空くじなしの抽選会開催や県外研修会等において、参加者の希望にそう形で余剰金を住民に還元してまいりました。

今年度は、バス代金の値上げ等により、余剰金を使い果たす結果となりました。来年度からは、収支に見合った事業活動をしてまいります。

## 編集後記

危険が迫ったときユダヤ人は、高額な費用を払ってでもホテルに行くそうです。一方、日本人は、安全は自然と守られているもの、あるいは誰かが守ってくれるものと考えている。この話に日本人の姿が共感できる。しかしながら、科学技術の進歩によってネット詐欺等新たな犯罪が生まれ、昔と違って日常生活が脅かされている。日本人は変わらなければならない。

（谷口記）

## 【福寿会カローリング大会】

飯野公民館主催、福寿会共催

日時：2月9日（日）13：30～16：00

場所：飯野公民館 多目的ホール

参加チーム：福寿会10チーム

- 1位：東狐第1福寿会
- 2位：飯野第3福寿会
- 3位：飯野第2福寿会
- BB賞：芦崎第1福寿会



◆お問い合わせ・申し込みは 飯野公民館（いこいの） ☎72-5723



# 黒部川洪水想定 避難所開設訓練開催

## 1. 富山県の洪水災害の傾向

地球温暖化の影響を受けて、海水温度が毎年高くなり、その範囲も拡大しつつあります。結果、海水の蒸発量が増え線状降水帯の発生につながっています。富山県の洪水災害を見てみると、徐々に富山県西部から富山県東部へと広がり傾向にあります。



## 2. 避難所開設訓練の実施 11月17日(日) 9:00～11:30



受付の様子

飯野地域において、今回初めて黒部川洪水を想定した避難所開設訓練を行いました。災害想定として、昭和44年8月に発生した黒部川堤防の決壊による洪水被害を基に、小学校の児童玄関口が使用できないこととし、授業棟の非常階段を避難入口としました。

訓練は、避難所のレイアウト作りをメインに行いました。各地区の区長と住民、防災士、小学校から校長先生と高橋先生に協力していただき、90人の参加で行いました。



居住スペース作り



女子更衣室・授乳室



ダンボールベットの組立

## 3. 黒部川洪水ハザードマップ

黒部川洪水のハザードマップから、飯野地域は0.5m～3m未満の地区と3m～5m未満の地区があります。0.5m～3m未満の地区は、洪水発生時に垂直避難（2階に避難）が可能となっています。一方3m～5m未満の地区は、高畠、芦崎、報徳、園家、高瀬となっており、垂直避難が不適のため飯野小学校の2階と3階が避難所になります。



## 4. 訓練から見えてきた課題



避難所の開設になると1階は使用できないため、2階と3階のワークスペースを避難者に使っていただくことになります。更衣室、救護室、授乳室は空き教室を使います。今回は、小学校の協力を得てワークスペースに展示されている児童の作品等を事前に教室へ移動していただきました。洪水災害は、時間的に余裕があるもののレイアウト作りに多くの人手がかかります。

また、訓練を通してワークスペースに敷くゴザが半分しかないことも分かりました。これらの課題や他の問題を関係者で話し合っていきます。

# 大地震の発生に備えて何をすべきか

昨年1月に起きた能登半島地震、8月には宮崎県日向灘を震源とするマグニチュード7.1の南海トラフ一部割れ地震が発生し、南海トラフ臨時情報が出されました。そして、日向灘で今年の1月13日に再びマグニチュード6.9の地震が発生しました。

能登半島地震の余震が収束しないことや南海トラフ地震から地震への関心を持っておられる方が多いと思います。



## 1. 入善町地震ハザードマップ（ゆれやすさマップ）

入善町ゆれやすさマップにおいて、入善町で発生する地震の想定がされています。

(1) 入善町直下で地震が発生した場合

マグニチュード：6.9 想定最大震度：6弱～6強

(2) 魚津断層帯で地震が発生した場合

マグニチュード：7.3 想定最大震度：6弱～6強

今後30年以内に魚津断層帯による地震が発生する確率は、0.4%以上とされています。南海トラフ地震の発生確率は、今年80%に引き上げられました。

## 2. 建築基準法の改正



1981年6月（昭和56年）に建築基準法が改正されました。その後、1995年に発生した阪神・淡路大震災による甚大な被害結果を基に、さらに建築基準法が見直され、2000年に現在の建築基準法になりました。「2000年基準」とも呼ばれています。

1981年～2000年に建てられた木造住宅は、現行の基準に満たしていない可能性があります。

## 3. 地震が発生した時、家のどこが安全か



建築基準法の改正によって耐震化が強化されました。木造住宅において、2000年基準に満たさない住宅と耐震化が考慮された住宅とでは、地震が発生した時に避難する場所が違ってくことに注意しなければなりません。

- ・2000年以後に建てられた住宅 → 1階に避難（外への避難を考えて）
- ・2000年以前に建てられた住宅 → 2階に避難（建屋の押しつぶれを考えて）

## 4. 地震が発生した時に備えて

地震が発生した時に、家具類の転倒・落下で怪我をした人の割合は、過去の地震統計から30%～40%となっています。そのため、家具類の固定が有効な手段となっています。出入口のドア付近や寝室の家具類の倒れる方向を変えるのも一つの方法です。

また、地震時に家具類の転倒を防ぐ行為は、行ってはなりません。家具類の上に物を置かないようにしたり、重いものを下の引き出しに入れるようにすることも地震対策につながります。

